

石川海岸 かいがんほぜんしせつせいび 海岸保全施設整備の促進 (石川県小松市)

1. 事業概要

石川海岸は、加越沿岸の中央に位置し、背後には加賀平野を代表する穀倉地帯が広がっており、近年は、海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展している。

また、石川海岸は冬期風浪による侵食が著しく、明治以降数百mにおよぶ海岸侵食を受け災害が相次いだことから、直轄海岸保全施設整備事業として、直立堤防・緩傾斜堤・離岸堤・新型人工リーフの整備を実施している。

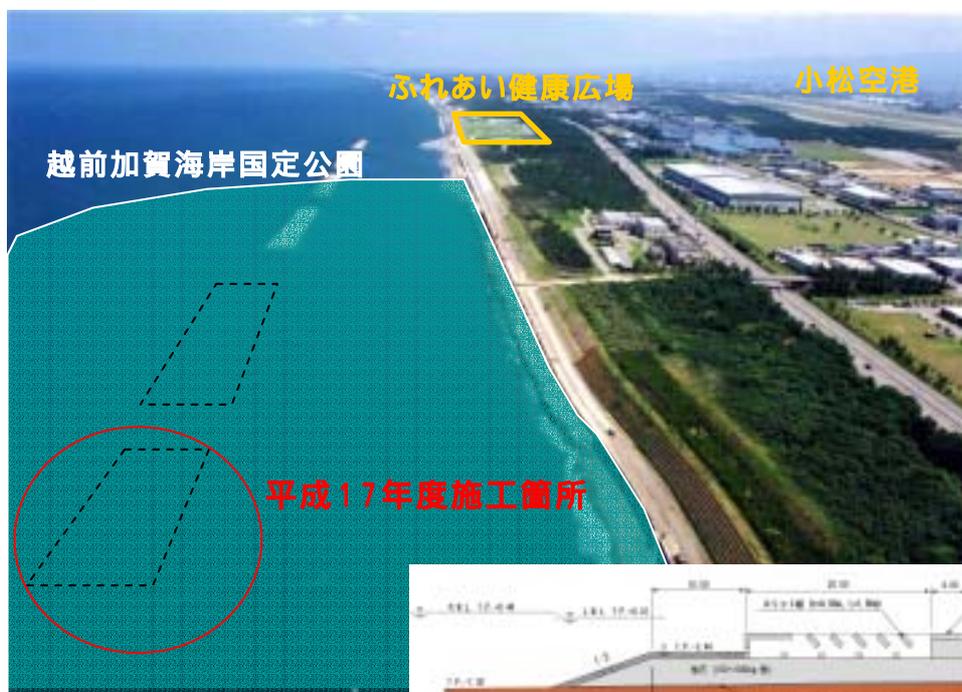
2. 事業の経緯（小松工区）

平成16年6月17日付で小松海岸の一部（5,540m）を直轄編入しており、平成16年度は新型人工リーフの函体製作工事に着手している。

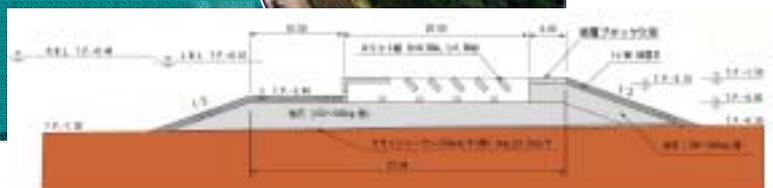
3. 平成17年度の実施内容

『越前加賀海岸国定公園』に指定されている当海岸の小松工区では、「ふれあい健康広場」からの四季を通じて夕日のきれいな海岸として利用されており、海岸保全施設整備事業として海面に突出しない構造の新型人工リーフ整備により、景観等に配慮した事業を推進する。

- ・施工箇所 小松市浜佐美地先
- ・実施内容 平成17年度は、平成16年度に製作した人工リーフ（函体）の据付を行うものである。



【小松市浜佐美地先】
(平成15年8月撮影)



新型人工リーフ